

ワンタイムだより

No.1

2016年1月22日発行

発行人



特定非営利活動法人
ワンタイム準備委員会
委員長 渋澤一郎

TEL : 026-247-2033

NPPO法人「ワンタイム」設立に当たって

～小さなものを大切に～

設立準備委員長

渋澤一郎



日本聖公会中部教区
主教 渋澤一郎

カナダ聖公会が1932年(昭和7年)、ここ小布施の地に結核療養所である「新生療養所」を設立してから84年目を迎えました。4年前、カナダ聖公会の首座主教であるフレッド・ヒルツ大主教をお迎えして創立80周年の記念行事を行ったことは記憶に新しいところです。

しかし、たとえ小さなことしかできなくともその一歩を踏み出すことが自分たちの使命(ミッション)であると考え、本国に支援を求めたのです。その要請に応え、カナダでははるかかなたの日本のために療養所建設の募金が始まりました。

この度、新生病院ではNPPO法人「ワンタイム」を設立し、カナダ聖公会からいただいた資産を今の時代により有効に用いようと計画しております。「ワンタイム」の目的は地域社会や助けを必要としている人々に様々な伝承・交流・協力・支援事業を行うことにより、健やかに暮らせる地域づくりと福祉の増進に寄与することにあります。それが84年前にカナダ聖公会がここ日本の小布施に新生療養所を作ろうとした志(こころざし)でもあります。

その募金に応じた多くの人たちの中に一人の子供がいました。その子は日本のために自分の小遣いの中から「1(ワン)タイム」(10セント)をきれいに磨いて捧げたのでした。ワンタイムは小さなものの象徴です。しかし、その小さなものの積み重ねが大きな働きにつながるのです。この少年のワンタイムや募金にに応じてくれた方々一人一人の思いが積み重ねられて現在の新生病院が形成されているのです。

当初カナダ聖公会の宣教師たちは結核療養所を作ることには自分たちの手には余ることであると考えていました。

NPPO法人「ワンタイム」はそういう精神を受け継ぎながら、この地域における保健や医療、福祉の増進を図り、まちづくりの推進、観光の振興、環境の保全、更には国際協力活動まで、幅広い事業を

計画しています。始まりは小さな活動かもしれませんが、みんなの思い(祈り)を一つに結集していくことによって大きな働きが生まれてくるものと信じています。

神様の奇跡は小さなものから始まります。一人の子どものワンタイムから新生療養所が生まれたように、神様は小さなものを用いて大きな奇跡を行われるのです。この「ワンタイム」を成功させるためには皆様方一人一人の力が必要です。どうか皆様方にも是非この働きにご賛同いただき、この小布施から世界に向けて愛と奉仕の精神を発信してまいります。

皆様方のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。



NPO法人ワンダムの設立趣旨

小布施町唯一の病院となる特定医療法人新生病院。この前身である新生療養所は、昭和初期に日本中で蔓延した結核のサナトリウム（療養所）として昭和7年に開設しました。療養所開設にあたっては、カナダ聖公会が日本の結核による窮状を救おうとカナダで募金を開始し、カナダ聖公会の全額出資により誕生しました。

新設するNPO 法人では、カナダの先人たちや先人たちの思いを支えてくれた人たちが育んだ有形無形の資産を使い、広く社会貢献事業を行っていきます。

1. 現在も行っている海外医療協力・被災地医療支援を継続的に行っていくこと。
2. 80年以上前に開設し、今日まで受け継がれた新生病院の歴史・理念を後世へ伝えていくこと。
3. 新生病院の敷地に広がる自然環境を整備し、地域住民やボランティアさんなどの交流の場を創生すること。

法人名にある「ワンダム」とは、カナダ聖公会が行った募金活動の際、幼い少年が1ダйм銀貨をきれいに磨いて教会へ持ち寄った、というエピソードが由来となっています。日本に対して善意の心を持ったカナダの思いに共鳴し、これからは私たちが主体となって、地域社会・国際社会が必要とする事業を行っていく決意を固めました。



1ダйм銀貨＝「ワンダム」

現在、NPO 法人立ち上げに向け準備を進めており、2015年度中の法人設立を目指しています。

NPO法人ワンダム 3つの事業体

海外医療協力・
被災地支援事業部

歴史・理念伝承事業部

環境・交流事業部

海外医療協力・被災地支援事業部

バングラデシュ / 宮城・気仙沼



ジョイラムクラ・クリスチャン病院の
医師、看護師らから歓迎を受ける

「わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です。」（新約聖書・コリント人への手紙1 第3章6節）—— 新生国際医療協力基金によって蒔かれた海外医療協力の種は、たくさんの支援者の皆さんから水を注がれ、志のある多くの医師・医療者の参加・協力を得て、ここまで成長しました。

これからは、この「思い」と「願い」を新生病院が受け継ぎ、さらにたくさんの支援者の皆さん、医師、医療者の皆さんとともに、さらに一歩を踏み出していきます。

スタート博士をはじめとするカナダからの医師、看護師や宣教師が、結核に苦しむ日本人々に寄り添ってくれたように、今度は、この小布施の私たちが、病に苦しんでいるバングラデシュなど海外の方々へ寄り添う番だと思っています。同じように、大震災の影響で未だ十分な医療環境の整わない被災地の方々にも、医療支援を通して寄り添えたらと思います。



深夜におよぶ長時間の手術

歴史・理念伝承事業部

ミスパウル記念館



小布施町宝として指定されて
いるミスパウル記念館

キリストの愛と精神にもとづき、医療と福祉を通して、地域の人々と共に歩みます。チャペルとスタートハウス、町宝であるミスパウル記念館を運営し、地域の人々に歴史と理念を伝承し伝えていきます。

「ワンダタイム」の思いは、新生病院と新生礼拝堂、地域の多くの人々に支えられ広がっています。絵本『世界一のパン』の主人公の(故)岩崎小弥太さん、カナダからかえでの種を得て育ててこられた方、多くの絵本の寄付もあり、一人ひとりの物語が繋がりに楽しいビジョンを描くようになりました。



環境・交流事業部

メイプルの森

カナダの宣教師たちが種を蒔いてくれた新生病院。カナダの名物であるメイプルの木を育てて、物語を伝え、その思いを大切に継承しています。これからもボランティアの方々やメイプルの木の種類から苗を育て、数十年後のメイプルの森を夢見ます。ご参加・ご協力をお願いします。



メイプルの苗



メイプルの森構想図

海外医療協力等へ 皆様のお心をお寄せください

宮崎夫妻が尽力なさった海外医療協力は、今後も新生病院（NPO 法人ワンダタイム）が主体となり継続していきます。新生国際医療協力基金と同様、ワンダタイムに対しても引き続き皆様のお心をお寄せいただければ幸いです。当初、2015年12月にバングラデシュへの医師派遣を予定しておりましたが、過激派組織ISの影響により国際情勢が不安定なことから、派遣を中止しました。次回海外医療協力は2016年5月を予定しています。また、医師の派遣だけでなく、現地の医師・看護師等の受け入れ、現地に足を運び、学びを深めるスタディーツアーなども行っていく予定です。

皆様からお寄せいただくお心は募金という形を取らせていただきますが、この「募金」「募心」を、皆様からワンダタイムへのエールとして、海外医療協力だけでなく、歴史・理念伝承事業や環境・交流事業など諸活動のために大切に使用させていただき所存です。温かいご支援のほど何卒宜しくお願いいたします。

お振込口座

長野信用金庫 小布施支店 （普）0316189 口座名義：JF 物仔咄

※ご支援いただいた金額は、本誌「ワンダタイムだより」にてご報告いたします。



海外医療協力に関する講演会（仮題）を開催いたします

日時：2016年3月11日（金）18:00~19:30

場所：千年樹の里 健康福祉センター（長野県上高井郡小布施町小布施 860-1）

講師：森田 隆 氏（公益社団法人日本キリスト教海外医療協力会 事務局長）

入場料：無料

参加ご希望の方は、電話、FAX、メールのいずれかの方法で、①氏名 ②電話番号 を下記担当までご連絡ください。皆様のご参加をお待ちしています。

担当：湯田勝彦（メールアドレス：yuda@newlife.or.jp）

※当初は12月の海外医療協力に関する報告会を予定していましたが、次回、海外医療協力の際には報告会を開催する予定です。

編集後記

多くの方のご協力のもと、ワンダタイムだより準備号を発行することができました。本当に感謝しています。今後も定期的に発行していく予定ですので、未長らくお付き合いくださいますよう宜しくお願いいたします。

【お問合せ】

ワンダタイム準備委員会

〒381-0201

長野県上高井郡小布施町小布施 851-7-2

TEL：026-247-2033

FAX：026-247-4727

事務局：金、富山